

“アートピアとっとり”の実現に向けて、県民の皆さんと一緒に、活動を街・県内に展開していきます



●毎日来ても楽しい、何かと出会える美術館

- ▶1階から3階まで、無料で自由に入れる場所が広がります
- ▶年間1,000以上の多彩なプログラムを実施し、ひとりでも家族連れでも、子供からお年寄りまで、毎日アートを楽しめます
- ▶各所に居心地の良い様々なスペースがあり、“お気に入りの場所”“サードスペース”としても利用できます



子どもたちの創作ワークショップのイメージ



障がいのある方とアーティストのコラボレーションによる創作活動



キッズルームでの絵本の読み聞かせ会のイメージ

- ▶『ひろま』や『えんがわ』を、ユニークベニューとして活用できます
- ▶様々な使い方を皆様とともに工夫し、身近で、親しみやすく、愛着を持って参加できる美術館を育てていきます



【ひろま】はパフォーマンスやコンサート、結婚式など多様な活動に活用できます

●「鳥取県立美術館らしさ」を創り、「鳥取の魅力」と共に、広く発信します

- ▶県の学芸員の方々と協力しながら、県立美術館としての品格と、親しみやすいみんなで作る美術館を両立します
- ▶学芸員と教育普及担当を配置し、子供からお年寄りまで楽しく学べるワークショッププログラムをつくり、美術ラーニングセンターをより魅力的にします



ボランティアの方々と共に、鳥取のアートを日常的に楽しめる鑑賞ツアーを開催

- ▶鳥取のまんが作家のみならず、広くポップカルチャーを様々な展示会やプログラムで発信し、アートのすそ野を広げます
- ▶独自のインターネットミュージアムと連携し、発信力を高めます
- ▶美術館だけでなく、他の施設、観光、まちづくりの方とも連携して、鳥取の魅力を形作り、発信していきます



ポップカルチャー展と連動したイベントも開催します



運営企業の多彩なポップカルチャー展の実績

運営企業が運営するサイトを活用して広く発信

●県民の“あったらいいな”でつくるアートな日常

- ▶レストランは“アートコミュニティダイニング”として、意欲のあるシェフや経営者を募集し、皆さんのチャレンジを後押しします
- ▶食材や器に県産品を活用し、コンテスト等で県民参加の機会をつくります
- ▶ショップでは県内のクリエイターの作品を展示販売、企画展と連携しながらオリジナルグッズも開発します
- ▶レストランでも様々なイベントを開催します



トータルイベントなど市民が参加できるイベントも開催



新たなアート活動の発表の場としても活用されるレストランやミュージアムショップ

●県民が主役となる美術館を創ります

- ▶県民が運営や創作活動など、気軽に日々の活動に参画できる仕組みをつくり、皆さんが担い手となる美術館をつくりたい
- ▶3年に一度、トットリエンナーレを開催して、美術館から街へとアートを拡げていき、たくさんの人々を呼び込みます



トットリエンナーレでにぎわう美術館のイメージ “アートピアとっとり”の実現に向けて